*****あなたの町の情報誌 ****

までにはいたらなかった。

「郡内研究」では、

藤本義利、藤崎村、晩

めた。

年廬橘庵と号す。文政

れていたが、詳細を知る

日本ステンレス工業株式会社

発行/日本ステンレス工業株式会社 〒409-0617 山梨県大月市猿橋町殿上630-1 電話=0554-22-2500 FAX=0554-22-5234

6 月下旬号 Vol.129 2010

甲斐源氏小笠原長清の十

屋号を「大屋」といい、

猿橋町藤崎の藤本家は

「義近」は系譜によれば、

多紀氏が幕府の医権を

術をおこない、

医は仁術

ついで江戸にて更に医学

るかのように所どころ大

書き込まれている。 菊さけの匂ひも強し

握ったので、天下の医家

「義利」の父で三十代目

義利 藤本

幕末親子 物伝

研究」にその名が紹介さ

譜によると、幕末から明 ことがわかった。 療に貢献した人物がいた にわたってこの地域の医 治初年にかけて親子二代 された藤本家の歴代の系 男藤崎十郎行長の後裔と いて紹介済みである。 としてその治績はすでに 本甲冑武具保存会の会長 主厳氏は鞍斉と号し、日 いう。その三十五代の当 この「大月人物伝」にお 「甲斐国医史」や「郡内 ところで、新たに発見

> り違えている。 七。 利の子を父親の名前と取 享年五十七。とあり、 を能くし、明治五年没す。 安政五年没す。享年六十 太夫、晩年廬橘庵と号す。 崎、大原村)初名は四郎 では、藤本義利(郡内藤 「郡内研究」と同様に義 嗣子文貢義近は産科

和歌や俳諧等の文芸に通 は名主などの村役をつと 条城と大坂城に在勤した。 八〇六)頃まで京都の二 ともいい、文化二年(一 父義近は、幼名を文之進 系譜をみると、義利の 役目を終えて帰国後

係や専科流派を載せてい るだけに、 かけての甲州全医師医方 《国医史」であるが、こ ところで、 資料集成と銘うってい は中世、 近世、近代に 医師の師弟関 前出の 甲

を能くし、

明治五年没

廃業。

没す。嗣子義近は産科

年中開業し、安政五年

これをみると、 江戸 の 義近」は、

藤本家の系譜

とあるが、文中「嗣子

によって「義方」の間違

いであることがわかった。

で、文政八年の卒である。 「甲斐国医史_ う位に進んだ。起死回生 仰ぐようになった。 のはみな多紀氏を宗家と にして漢方医を名のるも の術を持っていたという。 別家した。幕府の奥医師 と号した。元簡の二男で ると、字は赤柔また三松 となり、法眼、法印とい 「大日本人名辞書」によ この多紀家の元堅は、

は四人だけであった。そ あったが、この門に入る 0 九二) 六月、藤崎で出生。 義利は、 ことができた者は甲州で 藤本家の系譜をみると、 一人が義利であった。 寛政四年(一七

役宅に勤務する。 な。 法眼多紀元堅に師事。師 戸において元服。医術は 十七歳で村方へ披露。江 る。 より廬橘庵の号をたまわ 人として、長崎、 その後長崎奉行の用 俳諧、和歌をたしな 島原の

代義方は、

とより遠方まで診療、 業に専念、近郷近在はも 帰国後は、藤崎にて医 施

ある。医術を父に教習

之進八太郎、号は文貢と

さで綴られている。

そして、

息抜きでもす

系譜をみると、藤本文

の文芸にかかわる綴りが が、それでも当時の医術 を実践した。 に関する書物や俳諧など 藤本家は火災に遭った

事を見ることができる。 彙」があり、 中に分厚い「重訂古今方 少し残されている。その 込まれていて、漢方の薬 レ、秘ス、他見ヲ許サズ 一子相伝」の文字が書き 「秘方書入

いる。 号で多くの俳句を残して くさ花や波になが

元堅は医学館の教授で

義利はまた「魚水」の

文貢義方は、臨終の時

四方の霞も晴て花見

うれ しさやそのむら さきの藤匂ふ るゝ送り盆

れによると、診療活動と

猪苓は、

いのくそ草、

を、

役も勤め、 後年は、 名主などの村 六七歳で没し

た。

進という。開業年次等詳 細は不明、とある。 では、藤崎村、通称文之 ついで、藤本家三十二 「郡内研究」

秘製薬 う日記を残している。 調合し治療したのである。 て医業をおこなった。 からの秘伝にもとづいて の煎薬であった。彼は父 が苦心して案出した秘伝 製法が記されている。 き入れがあり、その調合 彙」をみると、「父上家 を修め、父の後を相続し 「父上安栄湯」などの書 ·精製 三味加茯苓湯. 義方は「治療録」とい それらは義方の父義利 前出の「重訂古今方 枇杷葉湯」「父 そ が、 だという。 に「猪苓沢瀉」とただ きな太字で、俳句や和歌 言、薬の名を残して死ん

きのふまで曇りし空

も今朝ははや

幾万代のすへも栄へ

らん今年より

君が代のゆたかなる

ら三ミリという読むのに う村方の文書もこの日記 並行して名主という村役 眼が痛くなるほどの緻密 病身最早永年ノ勤役難渋 ニ付、退役申出候」とい 「当村名主藤本文貢儀 一細かくなり、二ミリ 中に書き写している。 この日記の文字は次第 父義利と同様こなし あった。 沢瀉は、おもだか草で、 八月二十四日の卒である いられた薬草の名前で いずれも漢方薬として用 明治五年

(一八七二)

資料提供 藤本 吉川綾子 誠

執筆者 井上 豊



懸案のリフォームに期待以上の 仕上がりで応えてくれました

イメージキャラクター:あご勇

= 大月町花咲にお住まいの安藤さん =



屋根が瓦にな 力的でした。し かし、本物の瓦 ではいままでよ ではいままでよ がかさんで、い がかさんで、い がかさんで、い 私は自宅で美容室を経営していまして、建物の見た目の 美しさや清潔感は、仕事上も 重要なポイントでした。しか し、これまでとくに不都合も 感じてこなかったので、リフ オームを積極的には考えてき ませんでした。そこに日本ス テンレス工業株式会社の営業 の方がいらして、トタン葺き の屋根をリフォームして金属 てくださいました。

> リフォームと聞いて 一番最初に 頭によぎっ た不安は、 や内装のリフォームまでふ でなく外壁 だいたところ、予想よりも がなり良心的な価格で引き かなり良心的な価格で引き

です。 とめた見積りを出していたいたところ、予想よりもかなり良心的な価格で引きがり、これならお願いしてかり、これならお願いしていただけることがわる。とがおり、これならお願いしていたもいたりもいがある。

リフォームを決意しました

丹念な営業マンの説明に

実際にリフォームをしてくださった職人さんもてきくださった職人さんもてき方ばかりで、仕上がった自場をも店舗部分もとても清潔をも店舗部分をとても高級感がある強和る空間になりましたを高流れる空間になりました。

瓦に満足

で、頑丈な金属予想以上に丈夫

の方が薦めてくれた金属瓦の方が薦めてくれた金属瓦は厚みが0・8ミリしかなく、それでいて人が乗ってだということでした。それだということでした。それだということでした。それなら安心してお任せできるかなと、リフォームを決るかなと、リフォームを決るかなと、リフォームを決るかなと、リフォームを決るかなと、リフォームを決るかなと、リフォームを決るかなと、リフォームを決るが

職人さん 経験者募集!!

和指

ったと思っています。

お任せして、

料 15万円~40万円位 交通費支給(35歳位まで) 種 大工・塗装工・足場職人etc



空いた時間 PR紙お届けスタッフ を利用して

時 給 750円~1000円 交通費支給 勤務時間 9:30~16:30(自由) 休 日 自 由

応募はまずお気軽にお電話の上、履歴書をFAXにてお送りください。(FAX:0554-22-5234)

快適空間・いい屋根、いい夢、いい住まい

日本ステンレス工業株式会社 甲府本社 大月本部 上野原支店 牧丘支店 八王子支社

000120-350-358

土・日・祝日も営業しております

http://www.nsi10.com

〈業務提携先〉